

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 6 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	施設としては年2回消防避難訓練を実施し、防災学習により職員の意識を高めている。地域が超高齢地域であるため、地域住民の避難協力体制がない。	職員の少ない夜間の利用者の避難について、運営推進会議などで近隣住民の協力を得る。	地域に住んでいる職員が地域自治会活動・子供育成会活動で交流のある若い世代に協力をお願いしている。	1ヶ月
				地域の行事:自治連合会主催の久宝寺緑地防災訓練や地域の盆踊りに参加して交流を深め、協力を得る体制を作る。	12ヶ月
				大阪府を通じて、地域消防署から施設近隣住民に地域防災の要請を行っていただく。施設は消防訓練などを行う際は事前に消防・地域住民に参加を呼びかける。	36ヶ月
2	19	○本人を共に支えあう家族との関係-「家族からの励まし」は家族にしか出来ないもので、毎月面会をお願いし、話し合い理解を深めていただく。	本人を共に支えあう家族との話し合いや面会時の様子を、職員が共有することで、共に支援していく関係を深める。	面会届および外出泊届の書式を変更し、「家族からお聞きしたこと」「職員がお伝えしたこと」「本人家族の希望」を書きとめ、家族の理解を深める。	1ヶ月
3	43,52	衛生管理マニュアルを整備していたが、感染症マニュアルまた食中毒マニュアルをそれぞれ整備し、各感染症食中毒原因菌について対策をこうしなければならない。	感染症・食中毒様感染者が発生しないようにスタンダードプリコーションを採用しているが、各論についての対策を講じる。	感染症マニュアル、食中毒防止マニュアルを策定した。	1ヶ月